

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果について<資料>

京都市教育委員会

平成28年4月19日（火）に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」（以下「全国調査」）について、京都市立学校の状況をお知らせいたします。
 小学校、中学校ともに2教科（国語、算数・数学）全てにおいて、平均正答率が全国平均を上回る良好な結果でした。

1 調査の概要

- (1) 実施日 平成28年4月19日（火）
- (2) 対象学年 小学校第6学年，中学校第3学年
- (3) 実施教科等
 - ①教科（国語，算数・数学）に関する調査
「主として知識に関する問題（A問題）」と「主として活用に関する問題（B問題）」
 - ②児童生徒質問紙調査
生活習慣や学習環境等に関する調査
 - ③学校質問紙調査
学校における指導方法や教育条件の整備の状況等に関する調査
- (4) 実施市立学校数・参加人数

	実施学校数	参加人数
小学校	166校	10,132人
総合支援学校小学部	1校	
中学校	72校	9,495人
総合支援学校中学部	1校	

2 教科に関する調査の結果について

(1) 小学校調査（6年生）

小学校の平均正答率は、全国平均をそれぞれ1.1～2.1ポイント上回っています。主として活用に関する問題が出題されたB問題では、国語では全国平均を2.1ポイント、算数では1.4ポイント上回っています。昨年度との比較では、全教科で全国平均を上回る幅が縮小していますが、本調査が開始された平成19年度以降、全ての教科において全国平均を上回っています。

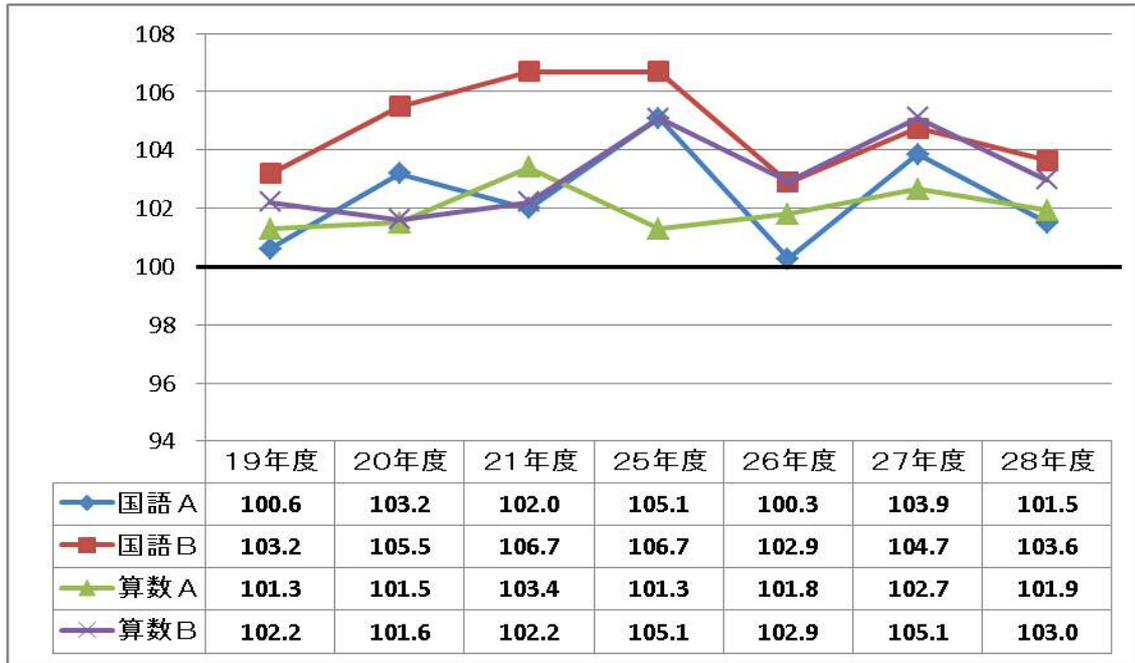
また、無解答率が国語Bの全ての設問及び全教科の設問数の約9割で全国平均を下回っていることから、子どもたちが最後まで諦めずに解答しようとする姿勢が伺えます。

	国語A（知識）		国語B（活用）		算数A（知識）		算数B（活用）	
	平均正答率	指数	平均正答率	指数	平均正答率	指数	平均正答率	指数
京都市	74.0 (+1.1)	101.5	59.9 (+2.1)	103.6	79.1 (+1.5)	101.9	48.6 (+1.4)	103.0
京都府	74.2	101.8	59.4	102.8	79.9	103.0	48.6	103.0
全国	72.9	100.0	57.8	100.0	77.6	100.0	47.2	100.0

※ 指数…全国の平均正答率を100とした場合の京都市・京都府の平均正答率の値（以下同じ）

※ 京都市の数値の下の（ ）内は全国値との差

◆本市の指数の経年変化



※平成22年度、24年度は抽出調査のため除く。平成23年度は東日本大震災のため中止。

◆分析・問題例

<国語>

- 平均正答率は、全国平均を国語Aで1.1ポイント、国語Bで2.1ポイント上回っています。
- 特に、A問題の「漢字の読み書き」「書く能力」に関する問題やB問題の「話す・聞く能力」「書く能力」に関する問題の正答率が高くなっています。
- 一方で、ローマ字を書く問題などの正答率は全国平均より低く、基礎的・基本的な知識・技能（A問題）の一部の定着状況に課題が見られます。

全国平均と比べて特に正答率が高かった問題

- A問題 ① 一 漢字を正しく読む問題（今日は全国的に快晴だ）
正答率 **84.7%**（全国平均 **79.3%**） 無解答率 3.7%（全国平均 5.2%）
- A問題 ③ 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する問題
正答率 **72.5%**（全国平均 **67.4%**） 無解答率 0.1%（全国平均 0.2%）
- B問題 ① 三 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する問題
正答率 **54.4%**（全国平均 **50.4%**） 無解答率 5.5%（全国平均 7.8%）
- B問題 ② 三 活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える問題
正答率 **63.2%**（全国平均 **58.3%**） 無解答率 3.4%（全国平均 4.2%）

全国平均と比べて正答率が低かった問題

- A問題 ④ 目的や意図に応じて、書く事柄を整理する問題
正答率 **77.0%**（全国平均 **78.2%**） 無解答率 0.2%（全国平均 0.3%）
- A問題 ⑧ 1 平仮名で表記されたものをローマ字で書く問題（りんご）
正答率 **50.3%**（全国平均 **53.2%**） 無解答率 11.0%（全国平均 11.9%）

<算数>

- 平均正答率は、全国平均を算数Aで1.5ポイント、算数Bで1.4ポイント上回っています。
- 特に、A問題の「数と計算」「図形」に関する問題やB問題の「数量や図形についての技能」に関する問題、また、選択式問題より自分の考えを記述する短答式・記述式問題での正答率が全国平均より高くなっています。
- 一方で、A問題の「量と測定」に関する問題や「数量関係」に関する問題の基準量・比較量・割合の理解に関しては、正答率が全国平均より低く課題が見られます。

全国平均と比べて特に正答率が高かった問題

- A問題 ① (2) 除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことの意味を問う問題
正答率 **74.5%** (全国平均 **68.5%**) 無解答率 0.3% (全国平均 0.4%)
- A問題 ⑦ 直方体における面と面の位置関係の理解を問う問題
正答率 **84.9%** (全国平均 **78.0%**) 無解答率 1.8% (全国平均 2.5%)
- B問題 ① (2) 示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用してその説明を記述できるかを問う問題
正答率 **50.1%** (全国平均 **45.2%**) 無解答率 3.3% (全国平均 4.0%)

全国平均と比べて正答率が低かった問題

- A問題 ⑤ 三角形の底辺と高さの関係に関する理解を問う問題
正答率 **79.1%** (全国平均 **82.0%**) 無解答率 0.9% (全国平均 1.1%)
- A問題 ⑨ (2) 1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係の理解を問う問題
正答率 **48.8%** (全国平均 **50.9%**) 無解答率 4.3% (全国平均 5.7%)
- B問題 ④ (1) 単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し特定することができるかを問う問題
正答率 **45.6%** (全国平均 **48.3%**) 無解答率 1.4% (全国平均 1.9%)

(2) 中学校調査 (3年生)

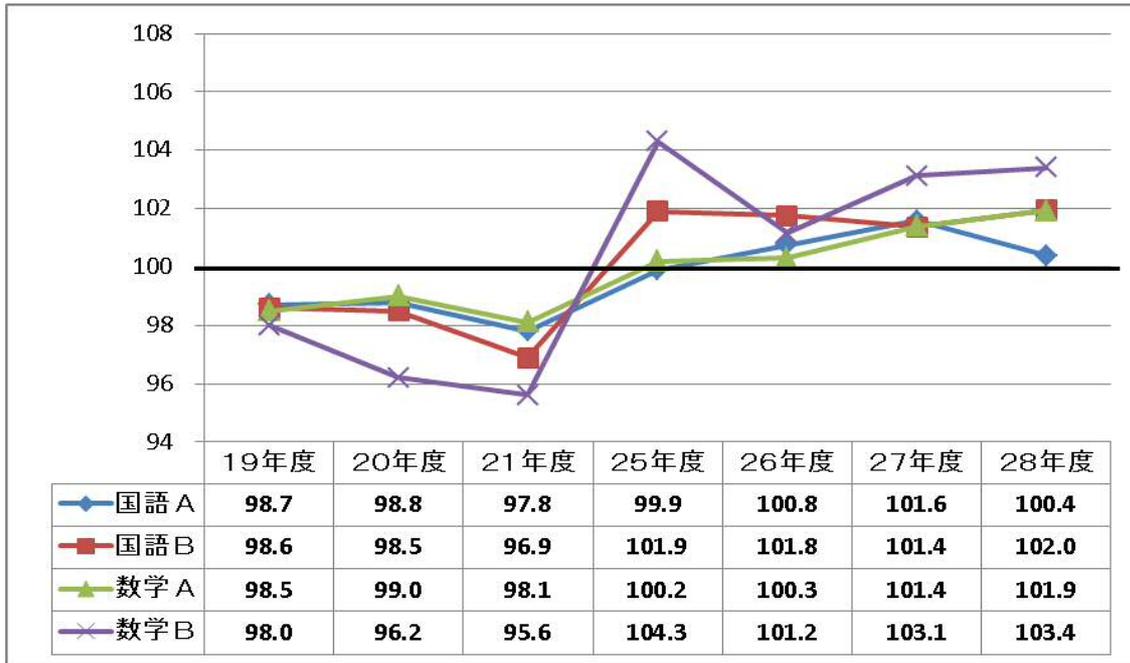
中学校の平均正答率は、全国平均をそれぞれ0.3～1.5ポイント上回っており、主として活用に関する問題が出題されたB問題では、国語は全国平均を1.3ポイント、数学では1.5ポイント上回っています。昨年度との比較では、国語B及び数学ABで全国平均を上回る幅が拡大しており、平成26年度以降、全ての教科において全国平均を上回っています。また、無解答率が数学Bの全ての設問及び全教科の設問数の約9割で全国平均を下回っていることも特徴であり、子どもたちが最後まで諦めずに解答しようと取り組んでいる姿勢が伺えます。

	国語A (知識)		国語B (活用)		数学A (知識)		数学B (活用)	
	平均正答率	指数	平均正答率	指数	平均正答率	指数	平均正答率	指数
京都市	75.9 (+0.3)	100.4	67.8 (+1.3)	102.0	63.4 (+1.2)	101.9	45.6 (+1.5)	103.4
京都府	75.8	100.3	67.2	101.1	63.3	101.8	45.0	102.0
全国	75.6	100.0	66.5	100.0	62.2	100.0	44.1	100.0

※ 指数…全国の平均正答率を100とした場合の京都市・京都府の平均正答率の値 (以下同じ)

※ 京都市の数値の下の () 内は全国値との差

◆本市の指数の経年変化



※平成22年度、24年度は抽出調査のため除く。平成23年度は東日本大震災のため中止。

◆分析・問題例

<国語>

- 平均正答率は、全国平均を国語Aで0.3ポイント、国語Bで1.3ポイント上回っています。
- A問題では、「話す・聞く能力」に関する問題、B問題では「書く能力」「読む能力」に関する問題の正答率が全国平均より高くなっています。
- 一方で、漢字の読み書き・意味及び慣用表現など言語に関する基礎的な知識の定着に加えて、伝えたい内容を整理して書き直す力、目的に応じて文書を要約する力及び学校図書館で疑問に思ったことを調べる際の「本の探し方」を考えるなどの活用力を見る問題の正答率は全国平均より低く、課題が見られます。

全国平均と比べて特に正答率が高かった問題

- A問題 7 二 互いの発言を検討して自分の考えを広げる問題
正答率 **64.3%** (国平均 **62.0%**) 無解答率 0.5% (全国平均 0.6%)
- B問題 1 一 文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える問題
正答率 **78.6%** (国平均 **76.2%**) 無解答率 0.1% (全国平均 0.2%)
- B問題 3 三 文章から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを自由記述する問題
正答率 **63.2%** (国平均 **57.7%**) 無解答率 16.5% (全国平均 22.8%)

全国平均と比べて正答率が低かった問題

- A問題 9 一(2) 文脈に即して漢字を正しく書く問題 (今までにないドクソウ的な考えだ)
正答率 **25.3%** (全国平均 **26.1%**) 無解答率 9.7% (全国平均 11.4%)
- A問題 9 三ア 語句の意味を理解し、文脈の中で適切な語句を選択する問題 (彼は、忙しい仕事の合間を縫って、私に会いに来てくれた)
正答率 **89.8%** (全国平均 **91.0%**) 無解答率 0.3% (全国平均 0.6%)
- B問題 2 三 目的に応じて文章を簡条書きで要約し(20~40字)、課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える問題
正答率 **46.3%** (全国平均 **49.2%**) 無解答率 3.9% (全国平均 6.0%)

<数学>

- 平均正答率は、全国平均を数学Aで1.2ポイント、数学Bで1.5ポイント上回っています。
- A問題では、「数学的な技能」に関する問題、B問題では「数学的な見方や考え方」に関する問題の正答率が全国平均より高くなっています。
- 一方、実生活における具体的な事象と式を関連付けて理解することや文字を用いて処理した手順を数学的に説明する問題の正答率は全国平均より低く、課題が見られます。

全国平均と比べて特に正答率が高かった問題

- A問題 **1** (1) 分数と小数の乗法の計算に関する問題
正答率 **69.4%** (全国平均 **66.9%**) 無解答率 4.1% (全国平均 5.0%)
- A問題 **7** (1) 三角形の合同条件を理解しているか問う問題
正答率 **74.7%** (全国平均 **70.8%**) 無解答率 0.6% (全国平均 0.8%)
- B問題 **3** (3) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題
正答率 **36.1%** (全国平均 **30.3%**) 無解答率 9.0% (全国平均 12.1%)

全国平均と比べて正答率が低かった問題

- A問題 **1** (4) ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることの意味を理解を問う問題
正答率 **66.4%** (全国平均 **69.0%**) 無解答率 0.2% (全国平均 0.3%)
- A問題 **4** (1) 垂線の作図の方法について、図形の特徴と関連付けて理解しているか問う問題
正答率 **26.2%** (全国平均 **30.9%**) 無解答率 0.7% (全国平均 0.8%)
- B問題 **3** (2) 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題
正答率 **27.4%** (全国平均 **29.8%**) 無解答率 0.6% (全国平均 0.7%)

3 児童生徒質問紙調査に関する結果について

児童生徒質問紙調査では、京都市立学校の児童生徒の学校生活・社会生活での意識や、学習に対する関心・意欲・態度について、概ね昨年度と同様、また「学習時間・家庭学習」や「自尊感情」などの項目はやや改善を要する結果となりました。

ここでは、「学習時間・家庭学習」、「読書」、「自尊感情・規範意識」、「ゲーム、携帯電話・スマートフォンの利用」、「基本的生活習慣」、「地域・社会への関心、ボランティア活動経験」など、学力と相関関係がある項目を挙げています。

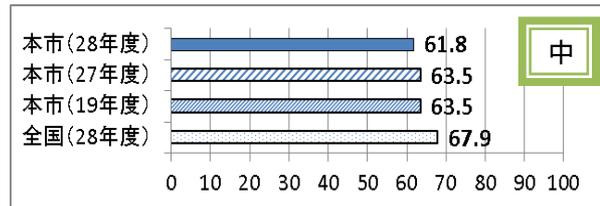
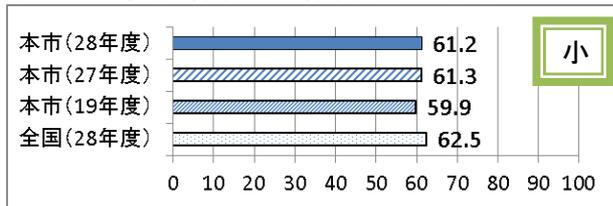
確かな学力の定着・向上のためには、家庭学習をはじめとする自学自習の学習サイクルの確立をはじめ、日々の生活において、子どもたちの規範意識や自尊感情を高め、地域や社会に関心を持たせ実際に地域で活動するなど、家庭・地域・学校における継続的な取組が重要であることが読み取れる結果となっています。(本資料の最後に関連する項目のグラフ・クロス集計データを掲載していますので、ご参照ください。)

(1) 学習時間・家庭学習

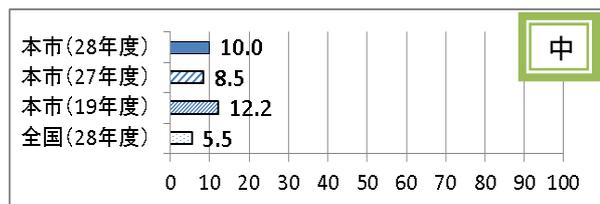
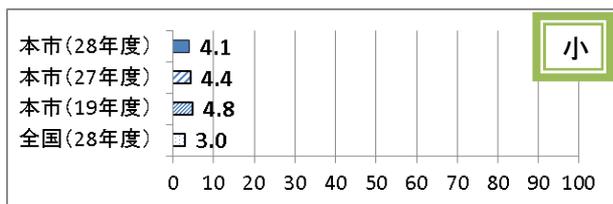
授業以外で「平日1日1時間以上勉強する」児童生徒の割合は、全国平均を下回っています。また、「全くしない」と答えた児童生徒の割合は、平成19年度(本調査開始年度)の数値を下回っているとはいえ、全国平均を上回っています。「家での計画的な学習をしている」児童生徒の割合も全国平均を下回っています。

全国的な傾向ですが、小中学校ともに、「宿題や家庭学習を計画的にしっかりと取り組んでいる児童生徒ほど、正答率が高い」傾向にあり、京都市でもその傾向は顕著に表れています。

○平日の学習時間（1時間以上）（単位：％）



○平日の学習時間（「全くしない」と回答した割合）（単位：％）



【京都市立小学校 クロス集計】

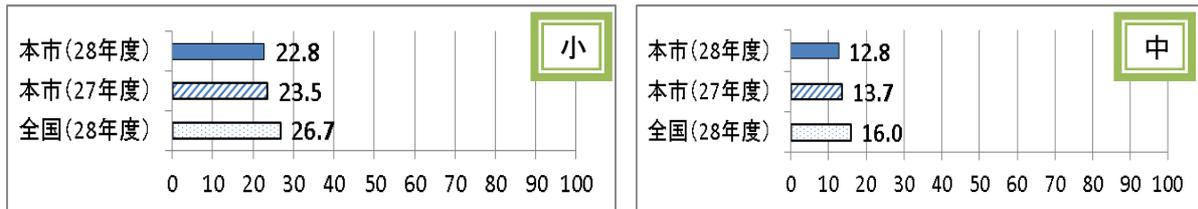
*その他・無回答を除くため、児童生徒数の割合の合計は必ずしも100%とはならない（以下同じ）

平日の学習時間 (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
3時間以上	15.1%	82.0%	69.7%	88.4%	60.3%
2時間以上, 3時間未満	14.8%	77.1%	62.1%	81.5%	50.0%
1時間以上, 2時間未満	31.3%	74.6%	60.8%	79.8%	48.0%
30分以上, 1時間未満	24.1%	71.6%	56.9%	76.3%	45.9%
30分より少ない	10.5%	67.1%	52.7%	71.9%	42.1%
全くしない	4.1%	61.3%	46.9%	66.1%	37.6%

【京都市立中学校 クロス集計】

平日の学習時間 (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
3時間以上	11.4%	79.1%	72.3%	71.7%	52.5%
2時間以上, 3時間未満	21.4%	77.1%	69.2%	67.1%	48.3%
1時間以上, 2時間未満	29.0%	76.5%	68.7%	65.3%	46.3%
30分以上, 1時間未満	16.6%	76.3%	68.5%	61.7%	44.7%
30分より少ない	11.6%	74.3%	65.6%	57.4%	42.0%
全くしない	10.0%	69.8%	59.2%	50.5%	36.3%

○家ででの計画的な学習(「している」と回答した割合)(単位:%) *19年度は同様の質問が無い。



【京都市立小学校 クロス集計】

家で自分で計画を立てて勉強しているか (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
している	22.8%	78.5%	65.4%	84.6%	54.7%
どちらかといえばしている	34.9%	76.5%	62.4%	81.2%	50.2%
あまりしていない	32.7%	71.6%	57.1%	76.1%	45.5%
全くしていない	9.6%	62.9%	47.9%	68.9%	38.8%

【京都市立中学校 クロス集計】

家で自分で計画を立てて勉強しているか (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
している	12.8%	78.5%	72.4%	70.1%	51.7%
どちらかといえばしている	30.1%	77.6%	70.1%	66.4%	48.5%
あまりしていない	39.1%	75.7%	67.3%	62.5%	44.5%
全くしていない	17.9%	71.9%	62.1%	55.5%	39.3%

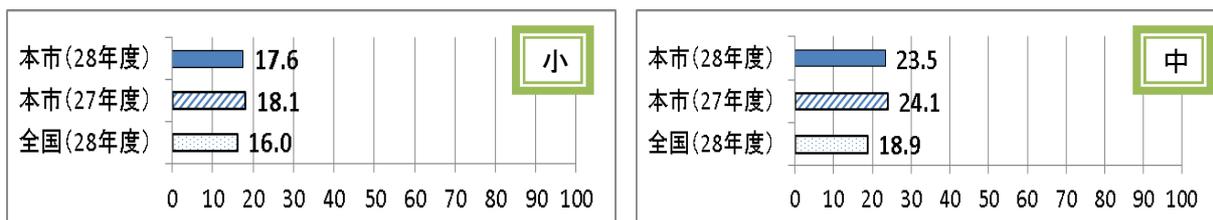
(2) ゲーム, 携帯電話・スマートフォンの利用と家庭学習

平日にテレビゲーム(携帯ゲーム含む)を「3時間以上する」児童生徒の割合は, 小中学校ともにやや減少しているものの依然として全国平均を上回っています。また, 「ゲームの時間が短いほど学習時間が長くなり, 正答率が高い」という結果となっています。

さらに, 携帯電話・スマートフォンの利用時間(ゲームを除く)についても, 概ね同様の傾向が見られ, 「携帯電話・スマートフォンの利用時間が短いほど学習時間が長くなり, 正答率が高い」という結果となっています。

○ゲーム時間(1日あたり3時間以上)(単位:%)

*19年度は同様の質問が無い。



【京都市立小学校 クロス集計】

1日あたりのゲーム時間 (選択肢)	平日1日あたりの学習時間(選択肢)					
	3時間以上	2時間以上, 3時間未満	1時間以上, 2時間未満	30分以上, 1時間未満	30分より少ない	全くしない
4時間以上	7.5%	12.5%	25.6%	24.4%	17.8%	12.0%
3時間以上, 4時間未満	7.7%	14.9%	29.8%	27.4%	13.9%	6.1%
2時間以上, 3時間未満	8.1%	13.5%	36.1%	26.5%	12.1%	3.6%
1時間以上, 2時間未満	9.8%	15.8%	33.6%	26.9%	10.1%	3.6%
1時間より少ない	17.9%	15.6%	32.1%	23.1%	8.4%	2.7%
全くしない	35.2%	13.5%	25.3%	16.1%	7.3%	2.3%

1日あたりのゲーム時間 (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率(%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	9.0%	62.3%	47.0%	67.1%	36.8%
3時間以上, 4時間未満	8.6%	69.4%	52.7%	74.0%	42.5%
2時間以上, 3時間未満	13.4%	70.6%	56.2%	76.8%	44.9%
1時間以上, 2時間未満	24.6%	74.3%	60.2%	79.4%	48.5%
1時間より少ない	30.9%	78.1%	64.7%	82.9%	52.8%
全くしない	13.3%	78.6%	65.8%	83.5%	54.4%

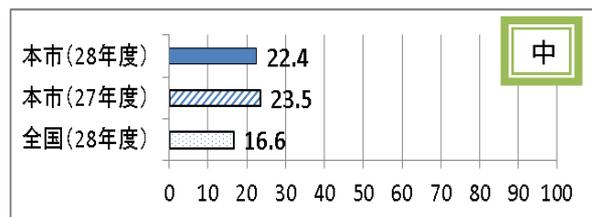
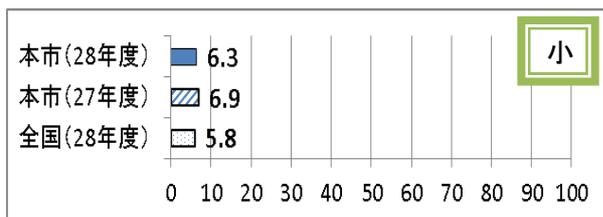
【京都市立中学校 クロス集計】

1日あたりのゲーム時間 (選択肢)	平日1日あたりの学習時間(選択肢)					
	3時間以上	2時間以上, 3時間未満	1時間以上, 2時間未満	30分以上, 1時間未満	30分より少ない	全くしない
4時間以上	9.1%	16.1%	21.8%	15.4%	14.4%	23.1%
3時間以上, 4時間未満	8.3%	22.1%	26.6%	17.3%	13.5%	12.2%
2時間以上, 3時間未満	6.9%	22.2%	30.5%	18.7%	12.3%	9.4%
1時間以上, 2時間未満	10.7%	20.4%	31.7%	18.9%	11.5%	6.7%
1時間より少ない	12.6%	22.9%	32.0%	15.4%	10.0%	7.0%
全くしない	18.8%	23.7%	26.9%	13.9%	9.5%	7.0%

1日あたりのゲーム時間 (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率(%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	13.0%	69.9%	59.0%	52.0%	35.3%
3時間以上, 4時間未満	10.5%	73.5%	64.3%	59.1%	42.6%
2時間以上, 3時間未満	16.7%	74.4%	66.0%	61.3%	43.4%
1時間以上, 2時間未満	20.0%	76.1%	68.8%	65.0%	47.3%
1時間より少ない	24.2%	79.0%	71.7%	68.6%	50.4%
全くしない	15.4%	79.4%	72.6%	67.9%	49.6%

○携帯電話やスマートフォンでの通話やメール, インターネットの利用時間(1日あたり3時間以上)
(単位: %)

*19年度は同様の質問が無い。



【京都市立小学校 クロス集計】

1日あたりの携帯電話、スマートフォンの利用時間（選択肢）	平日1日あたりの学習時間（選択肢）					
	3時間以上	2時間以上、3時間未満	1時間以上、2時間未満	30分以上、1時間未満	30分より少ない	全くしない
4時間以上	11.0%	13.4%	27.2%	22.7%	13.7%	11.6%
3時間以上、4時間未満	11.1%	18.0%	25.9%	23.9%	13.1%	7.5%
2時間以上、3時間未満	9.2%	17.4%	34.6%	24.9%	10.2%	3.7%
1時間以上、2時間未満	10.6%	16.8%	34.9%	23.2%	10.6%	3.6%
30分以上、1時間未満	12.1%	15.4%	31.7%	26.4%	10.5%	3.8%
30分より少ない	20.9%	14.3%	30.1%	22.2%	9.4%	3.1%
携帯電話やスマホを持っていない	13.4%	14.0%	31.8%	25.2%	11.1%	4.3%

1日あたりの携帯電話、スマートフォンの利用時間（選択肢）	児童数割合（%）	平均正答率（%）			
		国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	3.3%	59.6%	43.8%	61.8%	33.9%
3時間以上、4時間未満	3.0%	66.7%	50.5%	70.2%	39.2%
2時間以上、3時間未満	4.8%	70.0%	54.2%	74.1%	42.2%
1時間以上、2時間未満	8.1%	71.5%	56.0%	75.0%	45.0%
30分以上、1時間未満	12.1%	73.0%	58.0%	77.4%	46.2%
30分より少ない	32.1%	76.4%	63.5%	81.8%	51.8%
携帯電話やスマホを持っていない	36.5%	75.3%	61.4%	81.2%	50.4%

【京都市立中学校 クロス集計】

1日あたりの携帯電話、スマートフォンの利用時間（選択肢）	平日1日あたりの学習時間（選択肢）					
	3時間以上	2時間以上、3時間未満	1時間以上、2時間未満	30分以上、1時間未満	30分より少ない	全くしない
4時間以上	11.1%	16.4%	23.9%	13.1%	14.1%	21.3%
3時間以上、4時間未満	8.9%	23.9%	27.3%	16.7%	12.4%	10.7%
2時間以上、3時間未満	9.2%	21.1%	30.0%	17.1%	13.3%	9.2%
1時間以上、2時間未満	10.3%	22.3%	31.7%	15.7%	10.7%	9.2%
30分以上、1時間未満	12.3%	23.2%	30.0%	17.9%	10.0%	6.6%
30分より少ない	12.9%	21.8%	29.7%	17.2%	10.4%	7.9%
携帯電話やスマホを持っていない	14.1%	21.1%	28.2%	17.8%	10.9%	7.8%

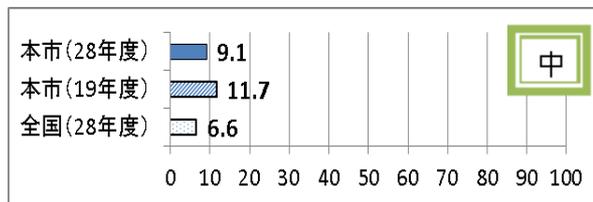
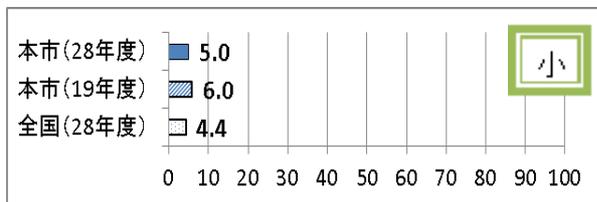
1日あたりの携帯電話、スマートフォンの利用時間（選択肢）	生徒数割合（%）	平均正答率（%）			
		国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	12.7%	69.8%	58.4%	50.7%	34.3%
3時間以上、4時間未満	9.7%	73.4%	64.3%	58.0%	40.4%
2時間以上、3時間未満	14.6%	75.0%	67.0%	61.6%	43.3%
1時間以上、2時間未満	17.2%	76.7%	68.7%	64.4%	46.2%
30分以上、1時間未満	16.4%	77.5%	70.1%	67.5%	49.9%
30分より少ない	15.2%	78.2%	71.0%	68.0%	50.2%
携帯電話やスマホを持っていない	14.0%	79.3%	72.8%	69.5%	51.6%

（3）基本的な生活習慣

平成19年度と比較して、「朝食を毎日食べていますか」という質問に「あまりしていない」または「全くしていない」と回答した児童生徒の割合は、小中学校ともに減少しているものの、今年度では小学校で20人に1人、中学校で10人に1人の子どもたちが朝食を食べていないことがわかります。また、「普段（月～金曜日）、午前0時以降に就寝している」と回答した児童生徒の割合は、平成19年度と比較し減少しているものの、依然として全国平均を上回っています。

朝食を食べること、1日活動した心身を休めるために就寝時間を十分に取り翌日の活動に備えることなど、基本的な生活習慣の確立は子どもたちの「知・徳・体」を育むうえで、とても重要なことです。ご家庭での習慣付けをお願いいたします。

○朝食を毎日食べていますか（「あまりしていない」または「全くしていない」と回答した割合）（単位：％）
*27年度は同様の質問が無い。



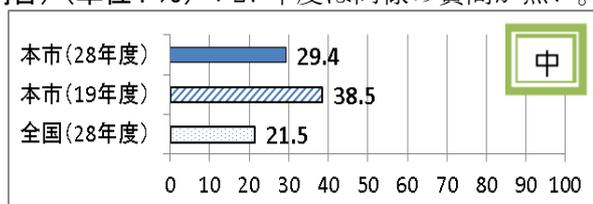
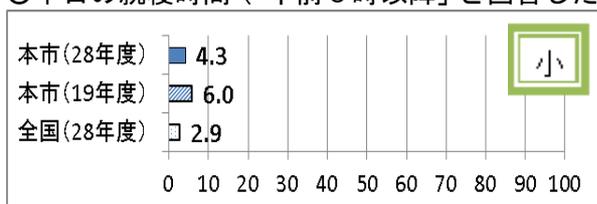
【京都市立小学校 クロス集計】

朝食を毎日食べていますか（選択肢）	児童数割合（％）	平均正答率（％）			
		国語A	国語B	算数A	算数B
している	85.6%	75.4%	61.3%	80.6%	49.7%
どちらかといえば、している	9.3%	67.8%	53.4%	72.2%	43.3%
あまりしていない	4.1%	64.1%	50.2%	67.9%	40.6%
全くしていない	0.9%	55.5%	42.9%	59.7%	34.4%

【京都市立中学校 クロス集計】

朝食を毎日食べていますか（選択肢）	生徒数割合（％）	平均正答率（％）			
		国語A	国語B	数学A	数学B
している	79.2%	77.5%	70.1%	66.2%	48.0%
どちらかといえば、している	11.6%	71.9%	62.5%	56.5%	39.6%
あまりしていない	6.3%	67.9%	55.8%	49.3%	33.3%
全くしない	2.8%	66.6%	54.3%	46.0%	32.0%

○平日の就寝時間（「午前0時以降」と回答した割合）（単位：％）*27年度は同様の質問が無い。



【京都市立小学校 クロス集計】

普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか（選択肢）	児童数割合（％）	平均正答率（％）			
		国語A	国語B	算数A	算数B
午後9時より前	4.1%	69.4%	55.4%	75.5%	45.9%
午後9時以降、午後10時より前	33.3%	74.5%	60.6%	80.6%	49.1%
午後10時以降、午後11時より前	43.0%	75.3%	61.2%	79.7%	49.2%
午後11時以降、午前0時より前	15.2%	72.4%	57.8%	76.8%	47.5%
午前0時以降	4.3%	68.8%	55.1%	73.7%	45.5%

【京都市立中学校 クロス集計】

普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか（選択肢）	生徒数割合（％）	平均正答率（％）			
		国語A	国語B	数学A	数学B
午後9時より前	0.8%	65.9%	54.5%	51.8%	34.4%
午後9時以降、午前10時より前	4.0%	73.3%	64.1%	60.1%	43.7%
午後10時以降、午後11時より前	22.9%	77.0%	69.1%	65.0%	47.1%
午後11時以降、午前0時より前	42.8%	76.4%	68.4%	64.3%	46.4%
午前0時以降	29.4%	75.2%	67.0%	61.7%	44.1%

(4) 読書

「読書好き」の児童生徒は、平成19年度と比べると小中学校ともに増加していますが、全国平均を下回っています。また、学力との相関関係も見られ、**読書は学力の基盤となる読解力の育成に影響がある**ものと考えられます。

1日あたりの読書時間の長さや正答率についても一定関連が見られ、小中学校ともに、「**平日に読書を全くしないという児童生徒の正答率は、読書をする児童生徒と比べて低い**」という結果になりました。

○読書は好きですか（「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）



【京都市立小学校 クロス集計】

読書は好きですか (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	45.6%	78.5%	65.1%	82.4%	52.8%
どちらかといえば当てはまる	26.1%	72.4%	58.5%	77.6%	47.1%
どちらかといえば当てはまらない	16.8%	70.8%	55.6%	76.8%	45.2%
当てはまらない	10.9%	65.2%	49.8%	73.2%	40.6%

【京都市立中学校 クロス集計】

読書は好きですか (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	42.5%	80.7%	74.9%	67.5%	50.4%
どちらかといえば当てはまる	23.8%	76.0%	68.2%	63.2%	45.0%
どちらかといえば当てはまらない	16.6%	72.3%	62.5%	60.6%	42.4%
当てはまらない	16.8%	67.8%	55.3%	56.3%	38.0%

○読書時間（1日あたり30分以上）（単位：％）

*19年度は同様の質問が無い。



【京都市立小学校 クロス集計】

1日あたりの読書時間 (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
2時間以上	6.2%	76.4%	62.2%	81.3%	51.2%
1時間以上, 2時間未満	9.3%	77.6%	64.2%	81.1%	52.0%
30分以上, 1時間未満	17.7%	76.9%	63.8%	81.5%	51.2%
10分以上, 30分未満	28.3%	76.4%	62.9%	81.7%	51.3%
10分より少ない	17.2%	71.5%	56.4%	76.4%	45.5%
全くしない	21.1%	68.4%	53.1%	74.4%	43.0%

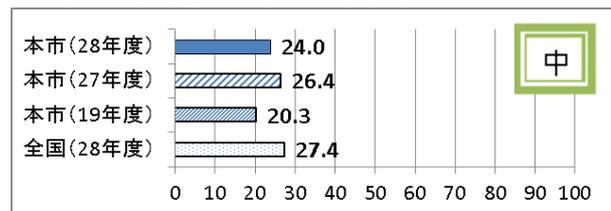
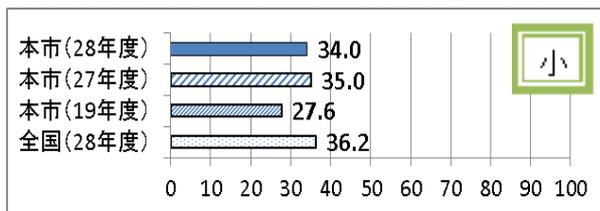
【京都市立中学校 クロス集計】

1日あたりの読書時間 (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
2時間以上	5.1%	78.9%	72.3%	62.4%	45.3%
1時間以上, 2時間未満	6.8%	78.1%	71.6%	63.6%	47.1%
30分以上, 1時間未満	12.5%	79.5%	72.5%	66.7%	49.6%
10分以上, 30分未満	22.8%	78.8%	72.2%	67.2%	49.6%
10分より少ない	14.9%	76.1%	68.6%	65.1%	46.8%
全くしない	37.7%	72.2%	62.1%	59.4%	41.3%

(5) 自尊感情, 規範意識

「自尊感情や規範意識が高い子どもほど正答率が高い」という傾向を示しており、学力との相関関係があることがわかります。しかしながら、「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に「当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、平成19年度と比べると小中学校ともに増加していますが、全国平均を下回っています。また、「学校のきまり・規則を守っていますか」という質問に「当てはまる」と回答している児童生徒は、平成19年度と比べると大幅に増加し小学校は全国平均と同水準ですが、中学校は依然として下回っています。

○自尊感情（「よいところがあると思いますか」に「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）



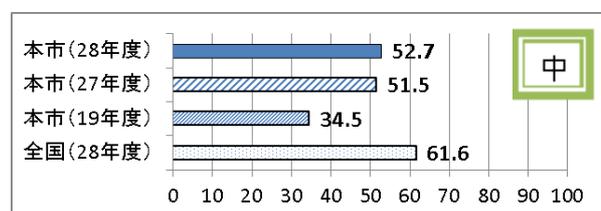
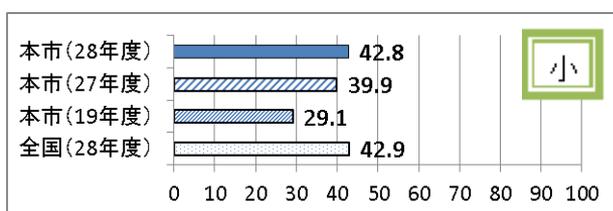
【京都市立小学校 クロス集計】

自分には、よいところがあると思いますか (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	34.0%	75.8%	61.7%	81.2%	50.2%
どちらかといえば当てはまる	43.1%	75.2%	61.6%	80.0%	49.9%
どちらかといえば当てはまらない	16.5%	70.8%	55.9%	75.9%	45.4%
当てはまらない	6.4%	65.5%	49.6%	70.1%	39.1%

【京都市立中学校 クロス集計】

自分には、よいところがあると思いますか (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	24.0%	75.5%	67.7%	63.7%	46.1%
どちらかといえば当てはまる	44.0%	76.7%	69.0%	65.0%	46.7%
どちらかといえば当てはまらない	23.1%	76.3%	68.0%	62.7%	45.4%
当てはまらない	8.9%	72.5%	62.1%	56.5%	39.8%

○規範意識（「学校のきまり・規則を守っていますか」に「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）



【京都市立小学校 クロス集計】

学校のきまりを守っていますか (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	42.8%	75.6%	61.7%	80.4%	49.6%
どちらかといえば当てはまる	48.0%	74.4%	60.2%	79.3%	49.0%
どちらかといえば当てはまらない	8.0%	66.9%	52.3%	73.2%	43.1%
当てはまらない	1.2%	55.7%	41.0%	61.2%	34.3%

【京都市立中学校 クロス集計】

学校の規則を守っていますか (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	52.7%	77.5%	69.9%	65.9%	47.9%
どちらかといえば当てはまる	40.5%	75.6%	67.7%	62.7%	44.9%
どちらかといえば当てはまらない	5.2%	67.0%	54.6%	49.5%	34.4%
当てはまらない	1.6%	61.9%	47.7%	43.4%	28.7%

(6) 地域・社会への関心, ボランティア活動経験

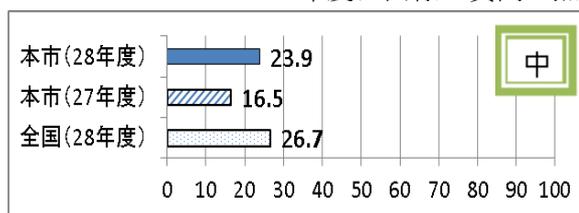
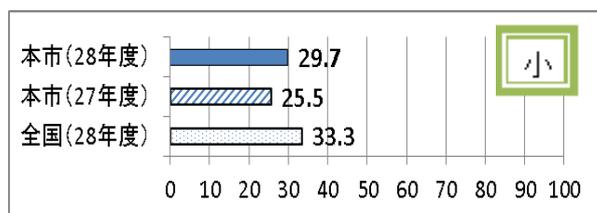
全国的な傾向として、小学生から中学生へと進学するにしたがって、地域・社会の出来事への関心が希薄化しています。本市では、昨年度と比べて小中学校ともに地域・社会へ関心がある児童生徒の割合が増加していますが、本市でも全国と同様の傾向が見られます。

地域や社会で起こっている問題や出来事に「関心がある」と答えた児童生徒の正答率は他の児童生徒より高く、概ね学力との相関関係が見られます。また、地域社会でボランティア活動の「経験がある」と答えた児童生徒の正答率は、ボランティア活動の「経験がない」と答えた児童生徒より高いという結果となりました。学校での学びとともに、家庭での生活や地域との関わり等を通して、子どもたちが様々な体験を積み重ねていくことの重要性が伺えます。

しかし、全国平均と比べて本市の児童生徒はボランティア活動の経験が少なく、また「わからない」と回答している児童生徒も約4割となっていることから、今後一層、子どもたちが地域社会で活躍し、貢献する機会を増やすことが望ましいと考えられます。

○地域・社会への関心（「当てはまる」と回答した割合）（単位：％）

*19年度は同様の質問が無い。



【京都市立小学校 クロス集計】

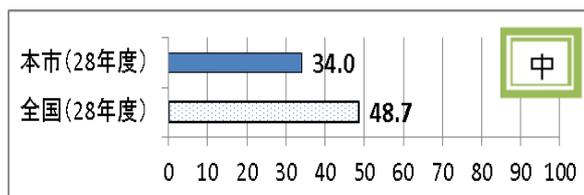
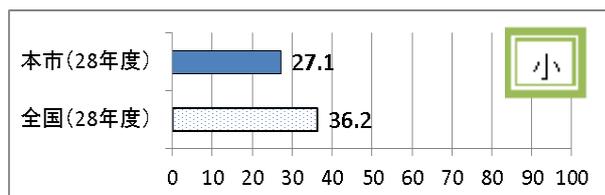
地域・社会の問題や出来事に関心がありますか (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	29.7%	77.8%	64.3%	83.0%	52.6%
どちらかといえば当てはまる	37.4%	74.6%	61.1%	79.8%	49.4%
どちらかといえば当てはまらない	23.1%	71.7%	57.2%	76.5%	45.8%
当てはまらない	9.6%	65.8%	49.0%	70.4%	40.0%

【京都市立中学校 クロス集計】

地域・社会の問題や出来事に関心がありますか（選択肢）	生徒数割合（％）	平均正答率（％）			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	23.9%	78.6%	72.7%	66.8%	49.5%
どちらかといえば当てはまる	39.7%	77.3%	69.7%	65.3%	47.0%
どちらかといえば当てはまらない	24.3%	74.2%	65.3%	61.2%	44.0%
当てはまらない	11.9%	69.8%	57.8%	55.0%	36.9%

○ボランティア活動経験（「参加したことがある」と回答した割合）（単位：％）

*28年度新規の質問



【京都市立小学校 クロス集計】

地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（選択肢）	児童数割合（％）	平均正答率（％）			
		国語A	国語B	算数A	算数B
参加したことがある	27.1%	75.0%	61.6%	80.9%	50.3%
参加したことがない	26.9%	74.4%	60.1%	78.1%	48.2%
わからない	44.6%	73.7%	59.4%	78.9%	48.1%

【京都市立中学校 クロス集計】

地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（選択肢）	生徒数割合（％）	平均正答率（％）			
		国語A	国語B	数学A	数学B
参加したことがある	34.0%	77.7%	71.0%	66.3%	48.6%
参加したことがない	25.8%	75.8%	67.5%	63.3%	45.9%
わからない	40.0%	74.6%	65.5%	61.1%	43.1%

4 京都市の学力向上の取組

本市では、子どもたちが身につけておくべき「確かな学力」を、「基礎的・基本的な知識・技能」、「習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」、さらに「学ぼうとする意欲」「生涯にわたって学び続ける力」と定義しています。そして、熱意あふれる教職員の実践はもとより、保護者・地域の皆様のご協力のもと、「確かな学力」とともに、「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた育成を目指しています。

(1) 小中一貫教育の更なる推進・充実と、次期学習指導要領改訂を見据えた教育課程の編成や授業等での指導の工夫・改善

本市では、平成23年度から全ての中学校区で義務教育9年間の学びと育ちを見通した「小中一貫教育」を進めており、「小中一貫教育目標の設定」、「教育課程／指導形態の工夫・改善」、「教育活動の連続性の確保」、「教職員間の連携・協働」及び「家庭・地域との連携・協力」を小中一貫教育推進に関する「5つの視点」として定め、子どもたち一人一人の可能性を最大限に伸ばすため、指導の工夫・改善を図っています。

また、本市をはじめ全国各地での先進的な事例を受け、平成28年4月から「義務教育学校」や「小中一貫型小学校・中学校」の設置が市町村の判断で可能となる等、小中一貫教育の制度化が図られました。本市では、これまでの小中一貫教育の成果や課題を踏まえ、5つの視点に基づく取組をさらに推進するための指針である「京都市小中一貫教育ガイドライン（試案）」を策定し、「義務教育学校」等の新制度への移行を見据え、学校・教育委員会で実践研究を進め、小中一貫教育の更なる充実を図っています。

また、各校における日々の指導においても、授業での学習の「めあて」の子どもたちへの提示と「ふりかえり」の実施や、子どもたちの主体性や学習意欲を引き出す「学び合い」のある授業づくりの工夫等、従来からの取組をさらに徹底するとともに、校長のリーダーシップのもと「教職員が主体的に児童生徒に対して組織的・一体的な指導を徹底して行う」学校組織づくり及び組織的なチェック体制の確立を進めています。さらに、教育委員会としても、次期学習指導要領においても重要な視点とされている、アクティブ・ラーニング（より主体的・対話的でより深い学び）を意識した授業改善の工夫、社会や地域と連携した「社会に開かれた教育課程」の編成及び実施、及びカリキュラム・マネジメント（教科等を越えた教育課程の力を発揮させ、子どもたちの資質・能力を育成すること）の確立等を目指す実践研究を実施しています。

(2) 京都市小中一貫学習支援プログラムの実施及び結果分析に基づいた授業改善

本市では、小中学校の接続を意識して、宿題を含む予習や復習、既習事項が定着したかどうかをみる確認テストの実施などを通して、自学自習の学習習慣（計画→事前学習→確認テスト→事後学習）を身につけるため「ジョイントプログラム」、「学習確認プログラム」等を実施しています。確認テストを通して、児童生徒がつまずきやすいポイントや学力の定着に課題が多い単元・領域に関するデータが蓄積されていますので、全国調査の結果とともに、平成27年度から新たに導入した分析システムにより多面的で詳細な結果分析を行い、教職員間でその情報を共有し授業改善に活かしています。

名称（開始年度）	学年	実施回数（合計）	実施教科等
プレジョイントプログラム （平成23年度～）	小3	1	国語，社会，算数，理科
	小4	1	
ジョイントプログラム （平成20年度～）	小5	2	国語，社会，算数，理科 *5回中3回は国・算で実施 *小6の最終回は中学入学直後に確認テスト実施
	小6	3	
学習確認プログラム （平成18年度～）	中1	1	国語，社会，数学，理科，英語
	中2	3	
	中3	2	

(3) 保護者・地域との連携による家庭学習への支援

本市では、学校運営協議会（平成28年10月末現在238校に設置。小学校は全校に設置）をはじめ、地域の方々・保護者・学生ボランティアの参画のもと、「土曜学習」※¹や「放課後まなび教室」※²、「放課後・学力ステップアップ事業」※³などの取組により、家庭学習や自学自習の習慣の確立や基礎学力の定着に努めています。

教室の中での学習だけではなく、自然体験や伝統文化体験などの体験学習、防災・安全の取組など、学校運営協議会や地域が主催する行事、「みやこ子ども土曜塾」※⁴等と学校が連携し、子どもたちが地域の方と交流する活動も大切にしています。子どもたちにとって、地域の方々に支えられているという意識や、地域の一員として主体的に関わろうとする意識を育む貴重な機会となっており、学力の基盤を形成する学ぶ意欲や態度を育み、自尊感情や自己肯定感の向上につながっていくものと期待しています。

その他、読書ノートを活用した「本」大好きな子どもを育成する取組や規範意識を育むための取組など、こうした一つ一つの地道な取組の継続が相乗効果となって、本市の児童生徒の学力が少しずつ着実に伸びている一つの要因となっているといえます。

教育委員会では、小中学校入学時に児童生徒へ配布しています冊子「自学自習のすすめ」において、学力向上を図るうえで大切な家庭学習のヒントをわかりやすくまとめています。子どもたちと一緒に、是非ご一読ください。

- ※1 「土曜学習」…平成23年度から全ての小中学校で、土日祝日などの学校休業日に、学校運営協議会や保護者、地域、学生等の方々の支援をいただき、学習活動や体験活動を行っています。
- ※2 「放課後まなび教室」…平成21年度から全ての小学校区で、学校運営協議会や保護者、地域、学生等の方々の参画を得ながら、放課後の子どもたちに学習の習慣づけを図る『自主的な学びの場』と『安心・安全な居場所』として、運営しています。
- ※3 「放課後・学力ステップアップ事業」…平成27年度から主に中学生を対象に、家庭環境に関わらず、全ての子どもたちが可能性を最大限に伸ばし、自らの未来を切り拓いていけるよう、放課後等に基礎学力の定着を図るための学習支援を行っています。
- ※4 「みやこ子ども土曜塾」…平成16年度から、土日祝日や夏休みなどの学校休業日に企業や大学、NPO等が実施する伝統文化・自然活動等の体験活動をホームページ及び情報誌「G o G o土曜塾」で発信し、京都ならではの多様な資源を生かしたさまざまな学びの場についての情報を提供しています。

5 保護者・市民の皆様へ

子どもたちの学力は、学校と家庭・地域での学習や生活を通して、地道な取組を重ねていくことで向上していくものであり、その基本は日々の学習習慣・生活習慣を身につけることにあります。全国調査の結果は、子どもたちの学力の全てを表すものではありませんが、子どもたちが知識や技能をしっかりと習得できているか、また、それら活用する力を身につけているか等を示す、重要な指標です。

平成28年度の調査結果は、**小学校及び中学校の全教科の平均正答率が全国平均を上回る良好な結果**でした。また、**無解答率もほぼ全ての設問で全国平均を下回り、最後まであきらめず、粘り強く取り組んだことが顕著に表れています**。さらに、**規範意識、ゲームの時間、携帯電話・スマートフォンの利用時間については、昨年度よりもやや改善が見られます**。

「小中一貫教育」や「次期学習指導要領改訂を見据えた教育課程の編成や授業等での指導の工夫・改善」、「京都市小中一貫学習支援プログラム」など、本市の学力向上に向けた主な取組も紹介しました。こうした取組とともに、子どもたちの頑張りはもちろんのこと、ご家庭や地域での子どもたちへ積極的な関わりや声かけ等とともに、学校運営協議会やPTAをはじめ、「子どもを共に育む京都市民憲章」の具体的実践に取り組んでいただいている多くの方々のご協力のもと、市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもたちの学習環境を整え、「生きる力」の礎となる「学ぶ喜び」や「生活の知恵」を授けていただいていることが、小学校及び中学校の全教科において平均正答率が全国平均を上回るという結果につながったものと確信しています。

しかし、**自尊感情、家庭での学習時間や読書等、子どもたちが主体的に学習に向かう意識や態度**については、平成19年度よりも改善しているとはいえ、**昨年度の本市の状況や今年度の全国平均を概ね下回っています**。また、地域・社会への関心は小中学生ともに昨年度よりも高くなっていますが、**ボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合は全国平均よりも低く、「地域社会への興味や関心はあるが、ボランティア活動はしたことがない」という子どもたちの様子も見受けられます**。

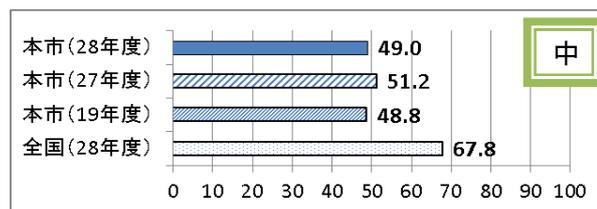
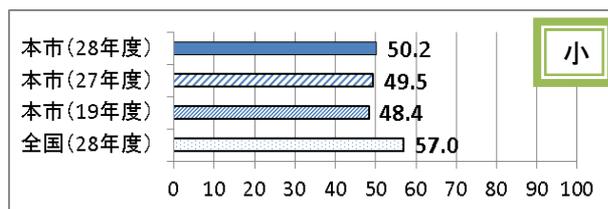
この調査結果を子どもたちの学力向上に活かすために重要なことは、**子どもたちが自らの学習や生活を振り返る機会として、できなかった問題の復習や、結果を踏まえた次の目標設定を行い、今後の学習や生活の充実につなげる**ことです。また、学校にとっては、この調査結果を詳細に分析し、全学年において指導の改善につなげることに加え、学校全体のこれまでの取組の成果と課題をまとめ、「学校だより」等でわかりやすく公表を行い、教職員はもとより、保護者・地域の皆様と情報を共有して指導方法の工夫や家庭学習の充実等に活かすことです。加えて、**ご家庭や地域におかれましても、子どもたちが主体的に学び、活躍できる場面をぜひ設けていただき、学力向上の基盤となる体験活動の充実・子どもたちの自尊感情の向上に関してご支援いただくことが重要だと考えます**。

この度お示した結果は、あくまで全国や京都市立学校全体の傾向です。これを受けて、それぞれの学校や家庭・地域において、子どもたちの学びと育ちに関わる大人たちが子どもたちの状況に即した取組を共に考え、行動を共有していくことが、子どもの力を伸ばしていくための大きなポイントとなってきます。子どもたちが夢と希望を持って未来を切り拓いていけるよう、豊かな学びと育ちのために、保護者、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

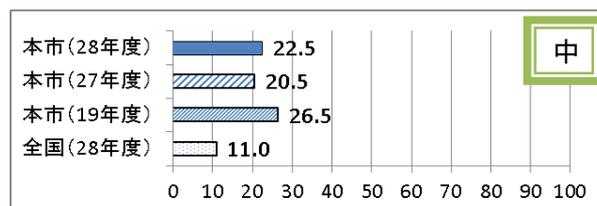
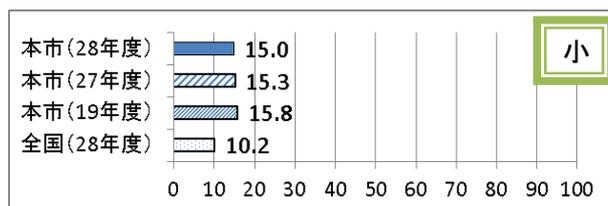
(本件に関する問い合わせ)
京都市教育委員会学校指導課
電話 (075) 222 - 3801

(参考) 児童生徒質問紙調査に関する結果について

○休日の学習時間（1時間以上）（単位：％）



○休日の学習時間（「全くしない」と回答した割合）（単位：％）



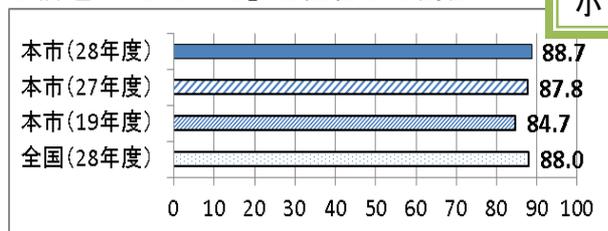
【京都市小学校 クロス集計】

休日の学習時間 (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
4時間以上	10.5%	84.3%	72.8%	90.9%	64.9%
3時間以上, 4時間未満	4.8%	78.1%	65.5%	84.3%	54.4%
2時間以上, 3時間未満	9.2%	76.5%	62.6%	80.7%	49.9%
1時間以上, 2時間未満	25.7%	74.6%	60.1%	79.3%	47.8%
1時間より少ない	34.6%	72.6%	58.4%	78.0%	46.6%
全くしない	15.0%	66.5%	51.0%	70.6%	40.6%

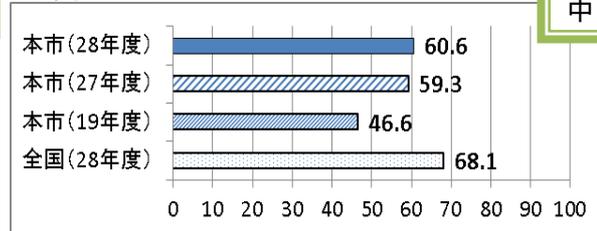
【京都市中学校 クロス集計】

休日の学習時間 (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
4時間以上	4.8%	81.2%	74.9%	75.2%	56.8%
3時間以上, 4時間未満	7.8%	79.5%	74.1%	72.0%	53.7%
2時間以上, 3時間未満	14.2%	78.5%	71.2%	69.6%	50.8%
1時間以上, 2時間未満	22.2%	77.6%	70.4%	66.5%	48.1%
1時間より少ない	28.4%	75.6%	67.7%	61.3%	44.0%
全くしない	22.5%	70.8%	59.8%	53.7%	37.2%

○宿題（「している」と回答した割合）



(単位：％)



【京都市立小学校 クロス集計】

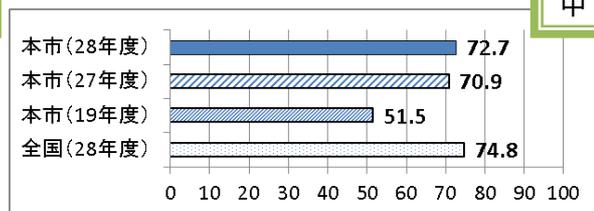
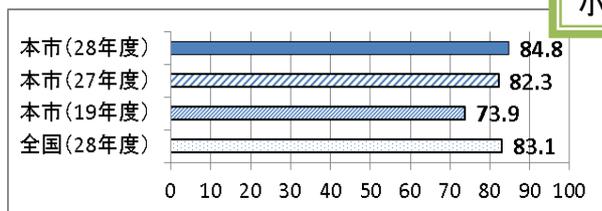
家で学校の宿題をしているか (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
している	88.7%	75.7%	61.8%	80.8%	50.0%
どちらかといえばしている	8.7%	62.6%	47.0%	67.9%	38.5%
あまりしていない	2.0%	56.2%	42.7%	60.9%	35.1%
全くしていない	0.6%	50.3%	36.9%	54.9%	29.9%

【京都市立中学校 クロス集計】

家で学校の宿題をしているか (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
している	60.6%	77.9%	70.9%	67.2%	48.9%
どちらかといえばしている	27.6%	74.7%	65.6%	60.4%	42.7%
あまりしていない	8.9%	70.8%	60.1%	52.5%	37.4%
全くしていない	2.8%	62.6%	49.5%	45.2%	30.7%

○規範意識（「いじめはどんな理由があってもいけない」に「当てはまる」と回答した割合）

(単位：%)



【京都市立小学校 クロス集計】

いじめはどんな理由があってもいけない (選択肢)	児童数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	算数A	算数B
当てはまる	84.8%	74.6%	60.7%	79.5%	48.9%
どちらかといえば当てはまる	12.0%	72.7%	57.1%	78.5%	48.2%
どちらかといえば当てはまらない	2.2%	65.2%	51.9%	72.0%	42.7%
当てはまらない	0.9%	62.9%	48.3%	70.8%	42.4%

【京都市立中学校 クロス集計】

いじめはどんな理由があってもいけない (選択肢)	生徒数割合 (%)	平均正答率 (%)			
		国語A	国語B	数学A	数学B
当てはまる	72.7%	75.7%	67.5%	63.2%	45.4%
どちらかといえば当てはまる	20.3%	77.3%	70.0%	64.9%	47.2%
どちらかといえば当てはまらない	4.8%	76.2%	68.5%	62.3%	45.6%
当てはまらない	2.1%	73.2%	62.4%	59.7%	43.0%